

【Excel で医療費明細を作ってみる】

(完成例)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	No	月	日	病院・薬局	品名	金額		合計		病院・薬局	金額		月	金額
2	1	12	13	清水歯科	治療	¥1,090		¥7,010		清水歯科	¥2,070		1月	¥1,980
3	2	1	1	マツキヨ	ガスター	¥1,980				マツキヨ	¥2,960		2月	¥1,980
4	3	2	3	くすりのセイジョウ	ガスター	¥1,980				くすりのセイジョウ	¥1,980		3月	¥980
5	4	3	1	清水歯科	治療	¥980							4月	¥0
6	5	5	1	マツキヨ	ルル	¥980							5月	¥980
7													6月	¥0
8													7月	¥0
9													8月	¥0
10													9月	¥0
11													10月	¥0
12													11月	¥0
13													12月	¥1,090
14													合計	¥7,010

今回は、「印刷をして見る」ではなく、「シート上で集計して値を見る」を考えています。

そのため印刷設定はしていません。

画面で見やすい配置、サイズに設定をしていきます。

(準備)

表の項目などを入力します。(下を参考にしてください)

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N
1	No	月	日	病院・薬局	品名	金額		合計		病院・薬局	金額		月	金額
2	1												1	
3													2	
4													3	
5													4	
6													5	
7													6	
8													7	
9													8	
10													9	
11													10	
12													11	
13													12	
14													合計	

列幅： A～C、G、I、L・・・3 D～E、J・・・20 それ以外は規定値

文字配置： 次の部分は中央揃え：1行目、A～C列、M列

セル色： 見本を参考に任意の色を設定

(データ入力支援)

入力がしやすいように各列に「入力規則」の「日本語入力」を指定します。

B～C列： オフ (英語モード)

D～E列： オン

F列： オフ (英語モード)

(表示形式)

金額が表示される部分に通貨スタイルの表示形式を設定します。

F 列、セル H2、K 列、N 列

M 列の数字に「月」の表示がされるように設定します。

ユーザー定義：0”月”

※この後、関数の設定をします。データが入っていると設定がしやすいので、データを入力します。

データ例)

	A	B	C	D	E	F	G
1	No	月	日	病院・薬局	品名	金額	
2	1	12	13	清水歯科	治療	¥1,090	
3		1	1	マツキヨ	ガスター	¥1,980	
4		2	3	くすりのセイジョウ	ガスター	¥1,980	
5		3	1	清水歯科	治療	¥980	
6		5	1	マツキヨ	ルル	¥980	
7							

※データ入力の際の注意点！

データは B 列から入力してください。A 列は自動で入力されます。

データを入力する時は「TAB」キーを使って横に進みます。

「金額」まで入力したら「Enter」キーを使うと改行します。

(関数)

A 列の「No」が、データ入力されたら自動で入力されるように関数を設定

例) セル A3

=IF(B3="", "", A2 + 1)

※数式は必要と思われる行数コピーをしてきます。

セル H2 に金額の合計を求めます

例) セル H2

=SUM(F:F)

N 列の「金額」に各月の合計金額を求めます

例) セル N2

=SUMIF(\$B:\$B,M2,\$F:\$F)

※数式は N13 までコピーをします。

セル N14 に金額の合計を求めます

例) セル N14

=SUM(N2:N13)

K 列の「金額」に各病院・薬局の合計金額を求めます

例) セル K2

=SUMIF(\$D:\$D,J2,F:F)

※数式は必要と思われる行数コピーをしてきます。

(重複データの削除)

各病院・薬局の名前を D 列からコピーし、J 列に張り付けたのち、重複しないようデータを整理します

「データ」タブの「重複の削除」を使います